授業科目	＊子ども文化(2 年制コース)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	池田　佐輪子						
授業概要	子どもの生活の中で「遊び」のもつ意義は大きい。子どもは「遊び」を通して心身の発育はもとより、興味・関心、探究心などさまざまな能力を開花させ、生きる力を身につけていくからである。この授業では子どもの「遊び」をより深め豊かにするものとしての子ども文化について学んでいく。授業では実務家教員として保育所での 25 年間の保育実践に基づき、絵本、紙芝居やペープサート、パネルシアターなどの子どもの文化財の制作、活用、そして保育現場での子どもとの具体的な関わり方等について説明する。また保育現場での実践で活かせるように、子どもの感性を豊かにする子ども文化と子どもの文化財について理解したうえで実際に文化財の制作をし、模擬保育の形式で発表を行う。						
授業形態	演習				授業方法	・教員による解説や保育のデモンストレーションを行う。 ・保育現場を想定した保育教材の制作、発表をする。	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 子どもの成長と文化の関わりについて説明できる。 2. さまざまな子どもの文化財についての基本を説明できる。（DP3-1） 3. 子どもを取り巻く文化に関心をもち、主体的に制作や課題発表に取り組む。（DP5-3） 発達に応じた遊びが子どもの望ましい育ちに影響することを理解し、子どもをイメージしながら楽しい遊びの計画・実践ができる。
理想的レベル	発達に応じた遊びが子どもの望ましい育ちに影響することを理解し、子どもの感性を高め、創造性を豊かに育てることを意識しながら楽しい遊びの計画・実践ができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	10%	制作した保育教材のレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	保育教材を用いた保育実践
レポート外の提出物	40%	制作した保育教材
その他	10%	授業への積極的な参加態度や意見表明等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH11336J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
・絵本カードをまとめる ・手遊びカードをまとめる ・パペットの制作、発表の準備 ・文化財の制作、発表の準備	1

授業計画

＊子ども文化(2 年制コース)

第 1 回	テーマ：オリエンテーション、子どもと遊び、子ども文化について ・授業の概要と目標、課題および提出物について説明する。
第 2 回	テーマ：伝承遊び ・わらべうた、手遊び、その他伝承遊びについて学び、実践する。
第 3 回	テーマ：子どもと文学① ・言葉遊びについて理解し、実践方法を学ぶ。
第 4 回	テーマ：保育人形を活用した遊び① 保育人形の意味や保育での活かし方について知り、保育人形を制作する。
第 5 回	テーマ：保育人形を活用した遊び② ・制作した保育人形を使って、自己紹介をする。
第 6 回	テーマ：絵本総論 ・絵本をめぐる行為、その定義の捉え方、多様なあり方、可能性と課題について理解し、実践方法を学ぶ。
第 7 回	テーマ：絵本と出合う（はじめての絵本との出会い） ・乳幼児を対象とした絵本の特色と乳幼児が絵本に触れるための具体的取組について学ぶ。（赤ちゃん絵本、ブックスタート）
第 8 回	テーマ：絵本と出合う ・書店における絵本の売り場づくり、絵本の流通について理解する。 外部講師：紀伊國屋書店　竹下心
第 9 回	テーマ：子どもと文学② ・紙芝居、素話、ストーリーテリングについて理解し、実践方法を学ぶ。
第 10 回	テーマ：おはなし会で活用するこども文化財① ・パネルシアター―について知り、その実践方法を学ぶ。
第 11 回	テーマ：おはなし会で活用する子ども文化財② ・ペープサートについて知り、その実践方法を学ぶ。
第 12 回	テーマ：おはなし会で活用する子ども文化財③ ・テーブルシアター、エプロンシアター、人形劇等について知り、その実践方法を学ぶ。
第 13 回	テーマ：自分の作品を作ろう ・学んだことを生かして、お互いに意見を伝え合いながら、現場で活用できる作品を作る。
第 14 回	テーマ：おはなし会形式で発表① ・発表を通して意見交換を行うことで、自己の課題に気付くとともに、お互いを高め合うことを学ぶ。
第 15 回	テーマ：おはなし会形式で発表②、まとめ ・発表の総括から、学んだ知識や技術を保育実践の場で活かせるようにする。
テキスト	認定絵本士養成講座テキスト　/　中央法規出版 その他は、必要に応じてプリントを配布。

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考書 「日本伝承遊び事典」　黎明書房 「ことばと表現力を育む児童文化」　萌文書林 コダーイ芸術選書２１「新訂わらべうたであそぼう」(全４巻)　明治図書
課題に対するフィードバックの方法	・制作課題については、評価点、改善点等、授業の中でその都度フィードバックしていきます。 ・発表（グループ、個人)、提出物についての助言等は、授業の中で適宜行っていきます。
学生へのメッセージ・コメント	・日常生活で見かける子どもや親子の様子を意識して観察してみましょう。日頃から子どもに興味・関心をもつことが大切です。また本学の「えほんのへや」、図書館や書店などでも絵本や手遊びの本などを見るように心掛けましょう。 ・実習や就職後に活用できるように、絵本カード、手遊びカードをファイリングしていきましょう。今日の子どもを取り巻く情報環境の中で、子どもの育ちにふさわしいものを選び取るにはどうすればよいか、考えながら学びを進めてください。

＊子ども文化（2 年制コース）